

2025 年度 第 2 回 兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会報告書

医療安全業務監査委員会は、兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会規程第 2 条に基づき監査を実施しましたので、その方法及び結果につき以下のとおり報告します。

1. 監査方法

兵庫医科大学病院における医療安全に係る業務の状況について、病院管理者等からの聴取及び当委員会から事前提示を求めた資料を閲覧する等の方法によって監査を実施しました。

- ・日 時：2026 年 2 月 12 日（木）16 時 30 分から 17 時 24 分
- ・場 所：兵庫医科大学病院 1 号館 共用カンファレンスルーム①
- ・委員長：宮崎 浩彰（関西医科大学 理事長特命教授（医療安全担当））
- ・委 員：亀井 尚也（かけはし法律事務所 弁護士）
（欠席）辰馬 勝（関西学院同窓会 顧問）

2. 監査実施項目

（1）業務状況報告

- ① 前回の業務監査委員会の提言に対する回答
- ② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）
- ③ 医療安全審議委員会報告
- ④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告
- ⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告
- ⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

（2）リハビリテーションに係る医療安全対策

- ① チェックリストについて
- ② 医療上の事故事例の対応状況

3. 監査結果

（1）業務状況報告

- ① 前回の業務監査委員会の提言に対する回答

前回の本委員会の報告書で求めていた医療安全管理部門の 2025 年度の目標と達成計画、進捗状況について確認しました。目標は、第三者認証を契機とした改善活動と医師の報告数の増加でした。特に後者は多くの病院の課題であることから、特定機能病院として先進的な取り組みとその成果が期待されます。すでに、新病院立ち上げに伴うシステム変更により、報告と確認方法の改善を計画されているとのことであり、その効果が期待されます。

- ② 医療安全管理部年間業務状況報告（医療安全管理責任者の業務報告も含む）

まず、院内ラウンドについては、シリンジポンプ・輸液ポンプなど医療機器の取り扱いに関するラウンドが実施され、マニュアルをもとに現場での実施状況の確認ならびにフィードバックが行われていることを確認しました。

次に、インシデント検討会が継続して開催され、討議された内容をもとに改善を図る、PDCA サイクルが機能していることを確認しました。

また、講習については上半期に3回開催されており、5,000名を優に超える職員が受講しており、医療安全に関する意識の高さを感じました。

さらに合併症を含む有害事象に関する報告や検証が適切に行われていること、中心静脈穿刺時の合併症や転倒転落発生件数など複数の項目がモニタリングされ、改善につながられていることを確認しました。

また、報告書確認サポートチームが活動しており、未読/未閲覧率のフィードバックなど院内啓発が積極的に行われていることを確認しました。新病院開院にあたり、システム更新が図られるとのことで、さらに未読/未閲覧率の低下が進むことを強く期待します。

③ 医療安全審議委員会報告

緊急審議事案などについて説明があり、各事案について協議し、必要な再発防止策を講じられていることを確認しました。また、2025年度の医療安全管理部門の目標である医師の報告数増加に向けて、研修医への働きかけや放射線技術部など他部門と医療安全管理部門が協働して医師の報告を働きかけるなどの取組みが検討されていることを確認しました。医師からのインシデント報告は影響度レベルの高いものが多く、再発防止策や質の改善につながる人が多いことが知られており、取組みの効果が期待されます。

今回の本委員会では、2025年度の医師/研修医からのインシデント報告数について、前年度との比較とともに報告してください。

④ 医薬品安全管理責任者業務状況報告

医薬品の安全使用のために必要となる未承認および適応外使用医薬品に関する情報収集が行われ、有害事象の報告はなく、安全に使用されていることを確認しました。

また、高濃度塩化カリウム注射製剤についても、薬剤師の現場での使用状況を確認し、医療安全管理部も注視しており、その結果は未承認新規医薬品等評価委員会を経て医療安全審議委員会に報告され、有害事象がないことを確認しました。

さらに、世界的に発生したフェンタニル注射液の供給不足について、レミフェンタニル静注用を緊急購入して代用するなど、医薬品管理が適切に行われていることを確認しました。

引き続き医薬品安全管理の充実に努められることを期待します。

⑤ 医療機器安全管理責任者業務状況報告

医療機器管理については、医療機器の保守点検が計画的に実施されていることと必要な医療機器研修の実施記録が各部門から適切に報告されていることを確認しました。また、問題事象について、対策の周知や経時的な観察が行われていることを確認しました。

⑥ 医療放射線安全管理責任者業務状況報告

2025年度から医療放射線安全管理講演会は、医療安全講習と分離し、独自の運営を開始されたことを確認しました。現時点では、受講率の集計など運営に手間取ることがあるとのことでしたが、運営が軌道に乗れば未受講者への働きかけなどが迅速かつ効率的に行うことが期待されますので、必要に応じて運営部門の人的資源の充実を図りながら確実な運営が行われることを期待します。また、各部署の線量管理が確実に行われていることを確認しました。引き続き医療スタッフが適切な線量で診療されることを期待します。

(2) リハビリテーションに係る医療安全対策

① 医療安全業務監査委員会チェックリスト

リハビリテーションに係る医療安全対策については、リハビリテーション部門が医療安全管理部門と連携され、車いすや歩行器といった機材の点検整備の計画的な実施や杖のフィッティングや酸素ボンベの残量確認などのリハビリテーション前の安全対策が確実に実施されていることを確認しました。また、患者の疲労や経験の有無、過信や焦りといった心理的な評価も組み込まれ、患者特有のリスクがスタッフ間で共有される仕組みがあることは高く評価されます。

一方、ほとんどの医療機関と同様に、電子カルテシステム上の問題として、リハビリテーションに関する指示の収載場所が、その他の一般指示と別れていることから、医師からリハビリテーションに関わるスタッフへの指示の伝達が損なわれるリスクがあります。これは、透析など、サブシステムを利用する医療全般にかかわる課題です。電子カルテシステムの改良がより一層進むことを願います。

② 医療上の事故事例の対応状況

リハビリテーションに関係したインシデントについて報告があり、詳細な検討により再発防止策が検討、実行されていることを確認しました。患者の疾患や治療介入により、運動機能が低下している部位が患者ごとに異なるため、リハビリテーションにおいてきめ細やかな対応が期待されます。

4. まとめ

医療安全に係る業務について監査を実施しましたが、適正な管理が行われ、病院のガバナンスならびに医療安全管理体制が機能していることを確認しました。当委員会として

は、引き続き改善ならびに医療の質向上に関する活動を検証するとともに医療安全管理体制の強化や医療安全文化の向上が継続的に図られることを期待します。

2026年6月4日

兵庫医科大学病院医療安全業務監査委員会

委員長 宮崎 浩彰

委員 亀井 尚也

委員 辰馬 勝